石巻日日新聞　2019年（令和元年）5月21日　火曜日

耕人塾第8期入塾

力蓄えて未来の主役に

20中高から39人参加

中高生が人間力を育む「耕人塾」（木村民男塾長）の第8期開塾式が18日、石巻専修大学で行われた。本年度は石巻地方の20中学、高校から新規28人を含む39人が入塾。昨年度に続いて「世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～」をテーマに、「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」を主軸とした活動で子どもたちが主体性と創造力を磨いていく。

同塾は平成24年度から行われ、教学委員には同大学の教授や学生、地域の小中学校教諭、民間企業や団体から協力者が名を連ねる。入塾者のうち、高校ではフィジーに留学している生徒、中学校は登米市からの参加もあった。

開塾式のあいさつで木村塾長は「新たな自分を作り、核となって石巻地域を良くするための大きなうねりを生み出してほしい」と期待。同塾1期生で本年度から教学委員に加わった石巻信用金庫職員の高橋智幸さん（24）は「主役は間違いなく皆さん。前向きに積極的に盛り上げてほしい」とエールを送った。

塾生たちは5つの班に分かれて自己紹介した。矢本一中3年の大橋瑛恋さんは「石巻地域をより良い街にしたい」、仙台青陵中1年の関根悠惟さんも「活動を通して人のために尽くせる人間になりたい」と語っていた。

同塾では今後、石巻川開き祭りでのゴミステーションの運営、東松島市野蒜の防災教育体験宿泊施設「キボッチャ」での宿泊研修などを行う。

塾生がそれぞれの意気込みを語り合った